

個人質問

6月定例会市議会では、二十九人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

一般・行財政



本市職員の退職時特別昇給 廃止を検討

問 本市職員の退職時特別昇給制度を 廃止した場合の財政効果は 廃止する考えは。

答 平成16年度に廃止した場合、約七千万円の軽減が、また今後五年間で、約四億円の軽減が見込まれる。国が16年5月から全廃したことを受け、本市においても現在廃止の方向で検討している。

本市水道事業 市民負担増加の抑制を

問 市民負担の増加抑制のため 苦田ダム完成で増加する基本水量の減量を、県水道企業団に申し入れては 増収策としては、水質検査の受託等を拡大しては。

答 申し入れは行っている。減量が可能となれば本市の受水費用は当面減額されるが、供給



水質検査の受託拡大を検討(水質試験所)

単価が上がることになるため、減量条項を含め条例の見直しを期待する。他事業体だけでなく本市の各種水質検査についても、受託に向け積極的に協議を行いたい。また、これまでに培った技術力や知的財産を活用し、特許権の取得等にも取り組みたい。

行政の

不適正執行防止に向けて

問 平成16年4月に新設された行政執行適正化推進課の業務内容は 今後の取り組みは。

答 情報公開と説明責任の履行が要請される中、コンプライアンス(公正な行政執行)の確立に向け、職員・各課との信頼関係に基づく対話により、組織的に不当要求への対応や内部の不適正処理防止等に取り組んでいる。全庁的なコンプライアンスの推進組織を設置し、基本指針・各種要綱等の策定や職員研修の実施などにより、その確立を図りたい。

御津町・灘崎町との

合併問題

問 御津・灘崎両町との合併問題で 法改正で特例措置の適用が一年延長されたが、余裕を持って協議を進めては 議員の特例について本市の考えは。

答 平成17年3月31日までに各市町で合併議決し、県に申請すれば、合併期日がその後の

用語解説



1 コンプライアンス=法律や社会的倫理を守って行動すること。企業や自治体は、法令順守基準と手続きを確立しておかなければならないとする組織運営の理念。企業の不祥事発覚から信用を失墜し破たんに至る事例が多数見られ、リスク管理の観点からも重視されている。

2 LRT=Light Rail Transitの略。路面だけでなく地下や高架の専用軌道も走行可能な高性能車両を使用する新交通システム。比較的安価な建設・導入コストや、超低床電車のため乗降が容易なこと、環境にやさしいなどのメリットがある。

まちづくり



JR吉備線の

LRT化計画

問 三門地区の高架化が懸案となっているJR吉備線で、LRT化計画が打ち出されているが その特性は 実現の可能性について本市の認識は。

答 線路や車両等の維持管理費抑制や運行本数の増加、車両のバリアフリー化等の有利な特性がある。現時点では高架化とLRT化のどちらが本市や市民にとっていいのか比較材料がないため、今後、市民に具体的な検討材料を示せるよう国・県・

JR西日本と連携して検討する必要があると考えている。



安全・快適な交通環境の整備に向けて ~JR備前三門駅周辺~